

しょうがいしゃ

ちいき せいかつ しょうほうし



# 「障害者」の地域生活情報誌

Vol. 16

# ぶるーむ.com

2012.7

なつごう  
夏号

じぶん せいかつたの  
～ 自分の生活楽しんでますか？ ～



もあ ころりゆうかい  
盛り上がる交流会♪

カッコイイ！！

## CONTENTS

P2 伊勢「自立自在」-第7回-

P4 伊勢「Oh-Life」-第2回-

P6 なおみちゃんの舞遊デン

P8 高尾ヘルパーコラム

P9 ぶるーむ活動報告

### ◆「ぶるーむ」の由来◆

英語のbloomをひらがな表記したものです。  
bloomには、「(花が)咲く」「(才能・事業などが)花開く」などの意味があります。この北九州の地で、自立生活の土壌をあらためておこすことから始め、それぞれの自立生活の種を植え、色とりどりの自立生活の花が咲きほこるという願いをこめました。

# 自立自在

Jiritsu-Jizai

第七回- “よろず!!”

ゴゴウノリフミ

毎月第三金曜日は「よろず!!」の日。「Y. O. R. O. Z. U...よろず!!」

MC担当の若い障害者が元気いっぱい、いつものフレーズを叫ぶ。はじまりの合図だ。動ける人は動けない人にジュースや食事を配って回る。介助者を連れてる人もいれば、連れていない人もいる。連れていなくてもかまわない。食事の介助が必要なら、近くの誰かに頼めばいい。ここぞとばかりに、自当ての女性に介助を頼む人もいる。

介助の手が足らなくて困るのもいい。自由に介助を受けられない不便さを味わうのも、また一興だ。もちろん、嫌なら、次回は介助者を連れてくればいい。どこから誰を連れてこようが大歓迎だ。よそのヘルパーでもいい。家族や友人でも、もちろん、いい。

各自が好きな場所で、好きな人と、好きな話に花を咲かす。新参が多ければ、マイクを回して一言二言、自己紹介もする。恥ずかしくて、嫌なら無理強いはしない。チャカしたり、ムチャ振りは恒例となりつつあるが、否定や批判はしない。参加者自らが決めたルールだ。

だからというわけではない(と思うが)、自然とみんなが料理を作ってくれた男性障害者に、贅辞を贈る。味ポンにこだわり、猫舌で味見もろくにしないのに、毎回、20人前もの料理がなんとなく美味しく出来上がるから不思議だ。面倒くさがり、なかなか継続が難しい障害を抱えているのに、もう十数回以上のよろず!!の料理を作り続けている。彼のカレーは絶品だ。



事務所なのにギターが常設してあるのは、よろず!!のためだ。(だから、許してほしい、監事さん!)ギターが上手なスタッフが、あらかじめ受けつけたリクエストだけでなく、即興でも伴奏してくれる。言語障害でカラオケについていけない人にも、うまくスピードを合わせてくれる。人前で話せなかった女性でさえ、ついにはノリノリで歌ってしまう。緊張で声が出しづらく、リズムが取れないならアカペラで歌ってもいい。ある障害者の「きよしこの夜」のアカペラには、皆が聞き入り、心が震えた。

最近(さいきん)は歌ブーム(うたブーム)も落ち着き(おちつき)着き(ギター弾きのスタッフは寂(さび)しがってるが)、一芸(いちげい)ブーム(き)が来(き)て(る)よう(よう)で、障(しょう)害(がい)者(じゃ)に負(ま)け(じ)とば(ばかり)に一芸(いちげい)を披(ひ)露(ろう)する参(さん)加(か)者(じゃ)の姿(すがた)も増(ま)えた。マ(ま)ジ(じ)ック(く)に、語(かた)り(り)に、漫(まん)談(だん)に、バ(ば)ル(る)ーン(ん)ア(あ)ー(あ)ト(と)に…とみ(た)ん(た)な(の)を(を)楽(たの)し(し)ま(ま)せ(せ)て(て)く(く)れ(れ)る。

当初(とうしょ)は、数(すう)人(にん)でこ(こ)じ(じ)ん(ん)ま(ま)り(り)と催(もよお)された。お菓(かし)子(し)でもつま(た)み(み)な(な)が(が)ら、おしゃ(しゃ)べ(べ)り(り)を(を)楽(たの)し(し)む(む)企(き)画(かく)だ(だ)った。いつ(いつ)の(の)ま(ま)に(に)か、毎(まい)回(かい)20(にじゅう)名(な)ほ(ほ)ど(ど)が(が)集(あ)う(う)よ(よ)う(う)に(に)な(な)った。市(し)外(がい)か(か)ら(ら)わ(わ)ざ(ざ)わ(わ)ざ(ざ)参(さん)加(か)す(す)る(る)人(ひと)も(も)い(い)る。一(いち)度(ど)き(き)り(り)の(の)参(さん)加(か)者(じゃ)も(も)い(い)る。毎(まい)回(かい)参(さん)加(か)す(す)ら(ら)出(しゅ)席(せき)の(の)確(かく)認(にん)は(は)い(い)ら(ら)な(な)い(い)と(と)笑(わら)う(う)男(だん)性(せい)は(は)、毎(まい)回(かい)、お菓(かし)子(し)や(や)ジ(じ)ュ(じ)ー(じ)ー(す)を(を)差(さ)し(し)入(い)れ(れ)て(て)く(く)れ(れ)る。雨(あめ)が(が)降(ふ)る(る)と(と)参(さん)加(か)者(じゃ)は(は)グ(ぐ)ッ(ッ)と(と)減(へ)る(る)。自(じ)由(ゆう)だ(だ)。

30(さんじゅう)回(かい)を(を)数(かぞ)え(え)て(て)も(も)一(いち)度(ど)と(と)し(し)て(て)同(どう)じ(じ)回(かい)は(は)な(な)く、毎(まい)回(かい)毎(まい)回(かい)、新(あら)た(た)な(な)出(で)会(かい)い(い)と(と)感(かん)動(どう)が(が)あ(あ)る(る)。『餅(もち)歌(か)よ(よろ)ず!!』、『花(はな)火(び)]、『ク(き)リ(り)ス(す)マ(ま)ス(す)☆(☆)よ(よろ)ず!!』と(と)時(じ)節(せつ)の(の)企(き)画(かく)も(も)増(ま)え(え)続(つづ)け(け)て(て)い(い)る。

参(さん)加(か)者(じゃ)発(はつ)案(あん)の(の)コ(こ)ー(お)ー(あ)ナ(な)が(が)次(つぎ)々(つぎ)と(と)生(う)ま(ま)れ(れ)る。手(て)狭(せま)に(に)な(な)り(り)つ(つ)つ(つ)あ(あ)る(る)事(じ)務(む)所(しょ)の(の)中(なか)で(で)は、下(げ)世(せ)話(わ)な(な)話(わ)に(に)盛(も)り(り)あ(あ)が(が)つ(つ)たり(り)、ホ(ほ)ー(お)ク(く)ス(す)の(の)話(わ)で(で)熱(あつ)く(く)な(な)つ(つ)たり(り)と(と)勝(か)つ(つ)手(て)気(き)ま(ま)ま(ま)な(な)お(お)しゃ(しゃ)べ(べ)り(り)が(が)続(つづ)く。

か(か)と(と)思(おも)え(え)ば、次(つぎ)の(の)瞬(しゆん)間(かん)に(に)は(は)突(とつ)然(ぜん)、「介(かい)助(じょ)を(を)受(う)け(け)る(る)こ(こ)と(と)は(は)迷(めい)惑(わく)を(を)か(か)け(け)る(る)こ(こ)と(と)な(な)の(の)か」と(と)い(い)った(た)真(ま)面(めん)目(め)な(な)テ(て)ー(お)マ(ま)で(で)こ(こ)も(も)ご(ご)も(も)意(い)見(けん)を(を)交(か)わ(わ)し(し)合(あ)う。ま(ま)さ(さ)に(に)“よ(よろ)ず!!”の(の)真(しん)骨(こつ)頂(ちやう)。なん(なん)で(で)も(も)あ(あ)り(り)だ(だ)。



# Oh-Life!!

けーつー  
KII

## だい かい さいこう みつかかん 第2回 最幸の二日間

### 1Day- I

4月27日（金）の午前10時40分、僕は生まれて初めて「開店前の長蛇の列」を見てテンションがおかしくなっていた。この日は小倉駅の裏にかなり大規模なオタクの聖地（巣窟??）が開店するというので、人がかなり多いということはもちろん覚悟していた。

しかし、行列がビルの裏側にまで延びている光景までは流石に想像できてなかった。実際、開店は11時だったが、僕が入り口に着いたのは11時を少し過ぎた時だった。この時、行列はビルの周りを一周しており、ビルの入り口付近に最後尾の看板が立っているというおもしろい状況だった。ビルの中に入れて少し安心した僕だったが、「混雑回避のため本日停止」という紙が目的のフロアに行くためのエレベーターに貼られていた時は流石にげっそりした。（これに関しては近くにいた係員さんが一機だけ動かしてくれたので無事目的のフロアにたどり着くことができた。）

### 1Day- II

僕の目的のフロアには数々のオタク的ショップが軒を連ねている。右を見ても左を見ても漫画やカードやオタク関連の商品で埋め尽くされている光景は、僕の理性を軽く崩してしまうほどの破壊力だった。もうこの破壊力に身を委ねてしまおうと思う僕だったが、現実はそう甘くはなかった。それは、僕がよく利用しているショップに店の外の非常階段にまでレジを待つ行列が伸びていたからである。ヘルパーの利用時間という普通の人にはまず無い制限がある中で、僕はその店での買い物諦めようとしていた。

しかし、そこで奇跡は起こった。そのお店の店員さんの一人が僕のところにやってきて「一番奥のレジで優先して対応しますので」と言ってくれたのである。この時の僕の心の中は、自分のキャラに合わない程の勝利の雄叫びで埋めつくされていた。これは、約5年間地道にこの店を利用し続けてきた僕の努力(?)の結果であろう。「常連補正」とは、まさしくこのことである(笑)こうして無事に一通りの買い物を終えた僕は、昼食のためビルの外へでるのであった。昼食後、今度は気軽な探検のために再び聖地という名の戦場に戻ったことは言うまでも無い・・・。

## 2Day

振り返ってみると、とても濃い一日だった。しかしこれで終わりでは無く、翌日には西日本総合展示場でアニソンライブが催された。前日の疲れがまだ残っている僕だったが、この二日間への気合いや執念がその疲れを一蹴した。このライブの方は、事前連絡などで調整をしていたのでスムーズに観客席まで行くことができた。一応、障害者用の座席をとっておいたのだが、僕のたったチケットの指定席がたまたま通路側の席だったので、そのまま一般の席で見ることができた。これは僕にとって嬉しい誤算だった。

しかし、実際にライブが始まると、盛り上がる大勢の観客で僕の視界はかなり遮られていた。それでも、ステージ上のアーティストが少しは見えていたのだが、目の前の二人組の観客が顔を寄せ合って話をすると、その度に僕はほとんど見えなくなっていた。今回のライブは花道もあったのだが、これに関して は確実に障害者席の方がよく見えていたことだろう。だが、僕も普通の席で見ている以上恨みっこ無しである。例えばステージがよく見えなくても、他の観客と同じようにペンライトを振りながら会場の雰囲気を楽しむ僕なのであった。

## Final

こうして4時間のライブは終了し、僕の最高の二日間も幕を下ろした。まだまだ書き足りないことも多いが、本当に楽しい時間を過ごすことができた。今回のお話は、この二日間の行動を支えてくれたヘルパーさんや知恵を貸してくれた人たちに感謝をしながら終わりにしようと思う。

## なほみちゃんの舞遊デ<sup>ぶ</sup>ン

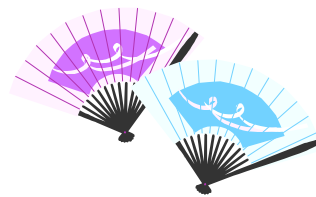
いわい な お み  
岩井菜穂美

ナント！おそろしいことに、この私<sup>わたし</sup>が連載<sup>れんさい</sup>記事<sup>きじ</sup>を書<sup>か</sup>くことになってしまった!!

スタッフでもない私<sup>わたし</sup>にこんな事<sup>こと</sup>をさせてしま<sup>ま</sup>っていいのか!? ぶるーむの危機<sup>きき</sup>!?なんてことはないの<sup>の</sup>だろう<sup>か</sup>?などと前置<sup>まえお</sup>きして<sup>い</sup>る場合<sup>ばあい</sup>ではない。この原稿<sup>げんこう</sup>の締切<sup>しめきり</sup>は明日<sup>あした</sup>ナノダ。とにかく書<sup>か</sup>かなければ!

私<sup>わたし</sup>がこの連載<sup>れんさい</sup>を始<sup>はじ</sup>めるきっかけは、岩井菜穂美<sup>いわい な お み</sup>が生ま<sup>ま</sup>れて<sup>じゅう</sup>十<sup>ねん</sup>年<sup>ねん</sup>。いろいろな経験<sup>けいけん</sup>をしてきた訳<sup>わけ</sup>。現在<sup>げんざい</sup>みたい<sup>に</sup>にバリアフリー<sup>な</sup>じゃない中<sup>なか</sup>で、ある種<sup>しゅ</sup>無<sup>む</sup>謀<sup>ぼう</sup>とも言<sup>い</sup>える様<sup>さま</sup>々<sup>ざま</sup>な武勇<sup>ぶゆう</sup>伝<sup>でん</sup>をつた<sup>え</sup>えたいと思<sup>おも</sup>ったから。

タイトルの当<sup>あ</sup>て字<sup>じ</sup>は、この人生<sup>じんせい</sup>を踊<sup>おど</sup>るが如<sup>ごと</sup>く遊<sup>あそ</sup>ぶが如<sup>ごと</sup>く楽<sup>たの</sup>しんで生<sup>い</sup>きて行<sup>い</sup>きたいという私<sup>わたし</sup>のモットーを表<sup>あらわ</sup>したかったので。



では、皆<sup>みな</sup>さんしばしのお付<sup>つ</sup>き合<sup>あ</sup>いを。

あまた けいけん なか なに いっかいめ も  
数多<sup>あまた</sup>の経験<sup>けいけん</sup>の中<sup>なか</sup>で何<sup>なに</sup>を一回<sup>いっかい</sup>目<sup>め</sup>に持<sup>も</sup>ってこようかな?と少し悩<sup>すこ</sup>んだのだ。

でも、私<sup>わたし</sup>って誕生<sup>たんじょう</sup>の時<sup>とき</sup>から普通<sup>ふつう</sup>じゃなかつたので、まずはそこ<sup>そこ</sup>から。

あか とつきとおか かあ なか  
赤<sup>あか</sup>ちゃんは十月<sup>とつき</sup>十日<sup>とおか</sup>、お母<sup>かあ</sup>さんのおなかの中<sup>なか</sup>に<sup>い</sup>るらしい、イエ!いるはず<sup>はず</sup>なのだが、私<sup>わたし</sup>はちよ<sup>ちが</sup>っと違<sup>ちが</sup>っていたら<sup>ら</sup>しい(らしい)とい<sup>い</sup>うのは生<sup>う</sup>まれた<sup>う</sup>たての赤<sup>あか</sup>ん坊<sup>ぼう</sup>の記<sup>き</sup>憶<sup>おく</sup>は遠<sup>と</sup>くへ消<sup>き</sup>え去<sup>さ</sup>ってしま<sup>ま</sup>っているから)

岩井家待望（そう信じたい）の第一子誕生は、11月下旬か12月下旬の予定だった。ところが、予定は未定。40日も早く10月21日の夜中、私はこの世に出てきた。「何をあわてて!？」と、私自身も思う。が、生んだ側の親もさぞかし焦ったに違いない。

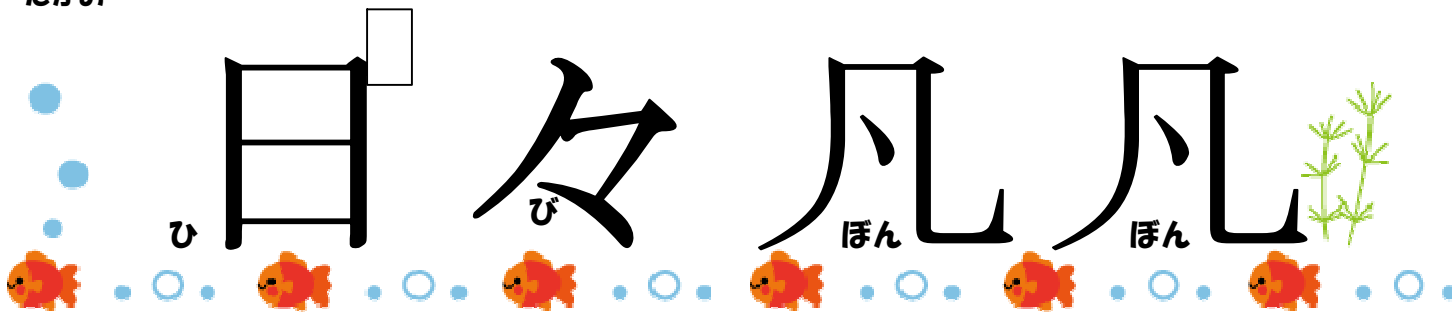
だって、普通「初産は遅い」とか言われてるから、何の準備もしてなかったらしいし、父親も仕事でいなかったそう。母は不安で一杯だったと思う。

後に、母に聞いてみた、「私の産れた時、どうもなかったん?」。母曰く「朝からおなかは痛かったんやけど、まさか産まれるとは思わなかった」。そりゃ、そうだろ。生まれる時からお騒がせして、ごめんよ。

こうして未熟児で生まれ、波乱万丈の人生のスタートを切ったのだ!

ところで、私信号待ちが大嫌いなんだ。これって誕生時の名残りなのかな?





ひ ざ きび じてんしゃ の じぶん つら きせつ  
 日差しが厳しくなりましたね。自転車によく乗る自分としては辛い季節になってきました。  
 じてんしゃ お ころ ぜんしんあせ ぶゆごう か ごがつ ちゅうじゆん むすこ たんじょう  
 自転車を降りる頃には全身汗だくです。冬号に書きましたが、五月の中旬に息子が誕生いたしました。

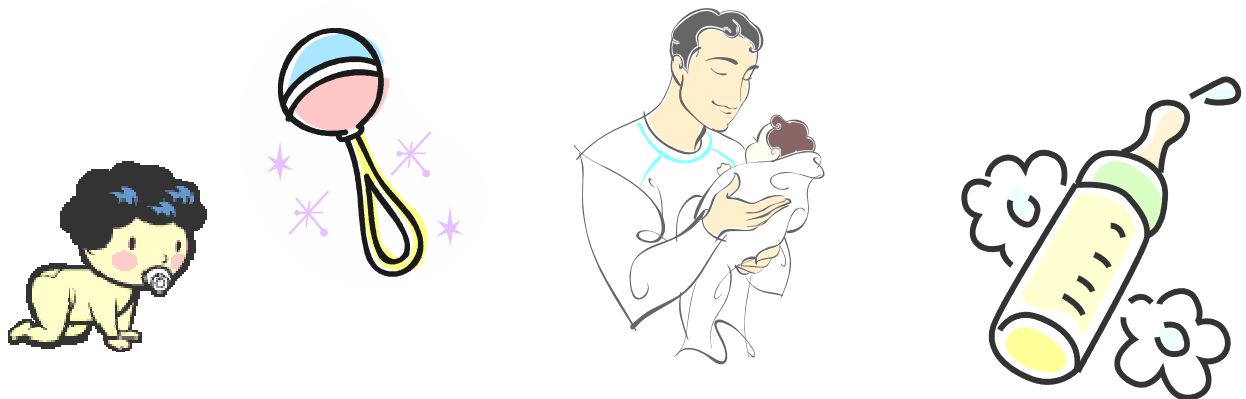
まわ ひとたち しゅっさん みとど しごと こと めいわく いわ  
 周りの人達のおかげで出産を見届けることができました。仕事の事で迷惑をかけ、お祝いの  
 ことば かたがた こんご ふ しともどもあたたか みまも  
 言葉をいただいた方々、ありがとうございました。今後も父子共々暖かく見守っていただいて、  
 しっせき ねが おやこそろ な  
 叱責のときはやさしくお願いいたします。親子揃って泣いてしまうかもしれませんので。

とうじつ さいしょ そうそう しゅっさん らく よめ み かん  
 当日、最初は想像していたより出産は楽なんじゃないかと嫁さんを見ていて感じました。と  
 ころが じかん た かん み こうけい だんせい  
 ころが時間が経つに逝がって、ドラマで見るような光景になっていきました。こんなとき男性  
 いた そうそう いた こし  
 は痛みを想像することもできないので、腰をとりあえずさすっているしかありません。

ぶ じしゅっさん おわ こども だ ひと いのち う かんどう じぶん あいかた なが  
 無事出産が終わって子供を抱き、一つの命が生まれた感動もありましたが、自分の相方が長い  
 じかん いた おも う たい だいじ そだ かん  
 時間、痛い思いをして産んだことに対して、大事に育ててやろうと感じました。

しょう しゃ ちいきいこう かてい わ こ せっきょくてき かなか  
 これから障がい者の地域移行をすすめていく過程で、我が子も積極的にセンターに関わらせ  
 ていきたいと思ひます。それと同時に地域で育てる子供として、皆さんから温かく見守って頂け  
 たら幸ひです。

しょう しゃ こども く まち だれ く まち  
 障がい者も子供も暮らしやすい町は、誰にとっても暮らしやすい町なのではないでしょうか。





かつどう ほうこく  
活動報告

へいせい ねん がつ へいせい ねん がつ  
平成24年2月～平成24年4月

がつ  
2月



きゅう B級 バスハイク『いちご狩りに行こう～』

ざっくり学ぶ！総合福祉法学習会(戸畑)

ピアサポグループ

さやがたにしょうがっこうでまえこうし  
鞆ヶ谷小学校出前講師①

よろず!!-26-

しょうだんれんしゅざい しんけん  
障団連主催『人権シンポジウム』

ヘルパー研修③「介助者の基礎知識」(A)

ピアサポグループ

りじかい  
理事会

がつ  
3月



かいほう ふうごう  
会報「ぶるーむ.com」vol.14 冬号

きたきゅうしゅうしぎかい しょうがいしゃ そうごう ふくしほう せいてい もと  
北九州市議会へ障害者総合福祉法の制定を求める

いけんしょ ていしゆつ もと ちんじょうかつどう  
意見書の提出を求める陳情活動

しん きざいようじよせいしよくいんけんしゅうでまえこうぎ  
新規採用女性職員研修出前講義

しやいんけんしゅうでまえこうぎ  
JRセコム社員研修出前講義

よろず!!-27-

ちようき こうざ  
長期LP講座①

さやがたにしょうがっこうでまえこうし  
鞆ヶ谷小学校出前講師②

ヘルパー研修③「介助者の基礎知識」(B)

ちようき 1 こうざ  
長期LP講座②

がつ  
4月



ちようき こうざ  
長期ILP講座③

はなみ さくら とも えがおさ  
花見2012～桜と友に笑顔咲く～

きたきゅうしゅうしん きざいようしよくいんまえこうでまえこうぎ  
北九州市新規採用職員研修出前講義

ちようき  
長期ILP④

けんしゅう じりつせいかつ  
ヘルパー研修④「自立生活センターについて」(A)

よろず!!-28-

ちようき  
長期ILP⑤

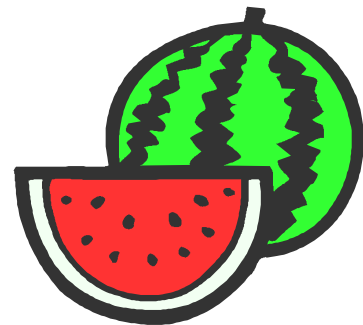
りじかい  
理事会

しん きざいようしよくいん けんしゅう  
JR新規採用職員カスタマーサポート研修①～⑧

でまえこうぎ  
出前講義

ちようき  
長期ILP⑥

こうえんかい  
ピアカウンセリング講演会

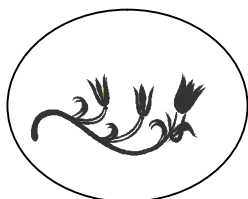


へん しゅう こう き  
**編集後記**

暑い夏がやってきました！！今年も節電対策、暑さ対策に悩まされそうですが、  
 障害を持っている私達にとっては暑さ対策はイロイロと切実な問題ですよね(^\_^)  
 体に合わせて無理なく節電やりたいですね (#^\_^#)

【 な 】

■ **ロゴについて** ■



この3つが繋がったチューリップには、3J=「自己選択」「自己決定」「自己責任」の意味と、この北九州の地で自分らしい、いきいきとした花を咲き誇らせてほしい・・・という願いがこめられています。

■ **会員募集** ■

自立生活センターの最大の特徴は、運営や各種サービスを「障害者」自らが中心となって行っていることです。これは、「障害者」にとって何が重要かということが一番知っているのは「障害者」自身であると考えるからです。

「自立生活センターぶるーむ」この考えのもと、2007年10月に産声をあげました。当団体の活動は、皆さまからのご寄付と会費により支えられています。

ご支援とご協力をお願い致します。

会員種別	年会費
正会員 当法人の目的に賛同し、法人の活動に責任を持って参加していただける個人の方。	3,000円
賛助会員 当法人の事業を資金面などで賛助していただける個人及び団体の方。	5,000円

【郵便振替】口座名義：特定非営利活動法人 自立生活センターぶるーむ  
 記号番号：17490 35083341

編集人  
 連絡先

NPO法人 自立生活センターぶるーむ  
 〒803-0818

福岡県北九州市小倉北区豎町2-1-5 豎町ビル1F

TEL 093-562-5431

FAX 093-583-3257

E-Mail [cil-bloom@nifty.com](mailto:cil-bloom@nifty.com)

URL <http://homepage3.nifty.com/cil-bloom/>

定価 100円